

高出力での高周波焼灼(50W)において目標とする Ablation index の違いが治療手技や術後の成績に与える影響を検討する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

当院では、高周波で心房細動アブレーション治療を行う際には、Ablation index という焼灼の程度を指標として数値化した値を用いています。この治療を用いることで、焼灼治療を加えたときに、どの程度焼灼を行うことができているかを数値として確認しながら治療を行うことができます。さらに、当院では高周波焼灼を行う際には高出力設定（50W）で治療を行っており、治療時間を短縮することができます。しかし、この高出力設定で治療を行う場合にどの程度の値の Ablation index を目標とするのが良いのかに関しては、これまで複数の研究がありますが、依然として結論が出ていません。そのため、施設・術者の裁量で目標とする Ablation index を決めているのが現状となっています。当院でアブレーション治療を行った患者さんのうち、岡松が術者を務めた症例では、高出力設定を用いつつ、経時的に目標とする Ablation index を段階的に高くして治療を行ってきました。そこで、この時期による目標の Ablation index の違いにより治療手技や有効性、安全性にどのような影響を与えてきたのかを検討することを目標としています。診療記録を収集し、データの解析を行います。すでに終了した治療に関するデータであり、診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2020年8月～2022年12月に当院で初回の心房細動アブレーション治療を行った患者のうち、術者が岡松であった方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、心房細動の種類、術中の電気生理学的所見、術後の再発

研究予定期間

研究実施許可日～2024年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 循環器内科科 岡松秀治

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を

閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 循環器内科 医長 岡松秀治 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	--